

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 12 月 10 日 (2015.12.10)

【公開番号】特開 2014-86579 (P2014-86579A)

【公開日】平成 26 年 5 月 12 日 (2014.5.12)

【年通号数】公開・登録公報 2014-024

【出願番号】特願 2012-234584 (P2012-234584)

【国際特許分類】

H 0 1 L 21/31 (2006.01)

C 2 3 C 14/52 (2006.01)

C 2 3 C 16/44 (2006.01)

H 0 1 L 21/3065 (2006.01)

H 0 1 L 21/205 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/31 F

C 2 3 C 14/52

C 2 3 C 16/44 B

H 0 1 L 21/302 1 0 1 G

H 0 1 L 21/205

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 10 月 26 日 (2015.10.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

真空チャンバ内で光を反射させるのに用いられる、真空チャンバ用反射部材であって、クオーツ基板と、

前記クオーツ基板上に形成され、前記真空チャンバの内部を構成する金属材料と同一材料で形成された金属反射層と、

前記金属反射層上に形成された二酸化ケイ素層を含む透明保護層とを備えた真空チャンバ用反射部材。

【請求項 2】

前記金属材料はアルミニウムである請求項 1 記載の真空チャンバ用反射部材。

【請求項 3】

前記金属反射層は蒸着層である請求項 1 又は 2 記載の真空チャンバ用反射部材。

【請求項 4】

前記金属反射層が形成されたクオーツ基板の表面が、表面粗さ R a 0.02 μm 以下に研磨されている請求項 1 又は 2 記載の真空チャンバ用反射部材。

【請求項 5】

前記金属反射層の厚さが 130 nm ~ 150 nm である請求項 1 又は 2 記載の真空チャンバ用反射部材。

【請求項 6】

前記透明保護層の厚さが 160 nm ~ 180 nm である請求項 1 又は 2 記載の真空チャンバ用反射部材。